

デジタルクリエイションコース

2017年度 専門試験科目

- イメージ表現「カタチからの発想」

実施する入試種別

公募制推薦入試[学校推薦型]B日程／一般入試前期B日程

専門試験科目における 前年度からの変更点

- 試験概要に関する特段の変更はありません。

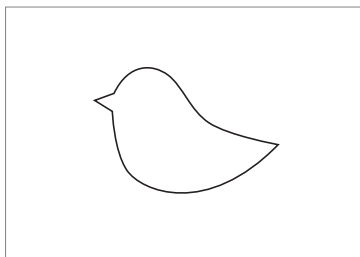
● イメージ表現「カタチからの発想」

出題意図： 指定用紙に印刷されたカタチから発想するイメージやアイデアを視覚的に表現してください。また、発想したイメージやアイデアを一言で表してください。発想を視覚的に表現するときのポイントは、指定用紙に印刷されたカタチを上下左右、様々な視点から観察して想像を膨らませること。そして、カタチの持つおもしろさを活かして絵やイラストで表現することが大切です。また、発想を一言で表すときのポイントは、イメージやアイデアを表す言葉が明確であること。独創的なイメージや優れたアイデアも絵を描き言葉で伝えることが重要です。

2016年度 公募制推薦入試 試験問題

時間： 3時間

問題： ケント紙表面に印刷されたカタチを活かして、「○○の休日」を、描きなさい。



- 制作条件：**
- ○○の内容を自由に考えて、ケント紙裏面の枠内に「○○の休日」と文字で書きなさい。
 - ケント紙の天地は自由。
 - 天の位置をケント紙裏面の△の印を黒く塗りつぶして示しなさい。

支給材料：

● ケント紙(A3)	1枚
● 下描き用紙(B4)	1枚

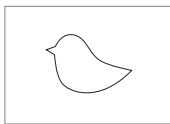
- 持参物：**
- 色材用具一式 ※1
 - 鉛筆デッサン用具一式
 - 画板(カルトン) ※2

※1 色材用具は、水溶性絵具、筆、筆洗、パレット、色鉛筆、サインペン、マーカーなど自由。色数の制限はありません(併用可)。ただし、他の人に迷惑がかかるもの(スプレー絵具、シンナー系絵具など)や乾燥しにくいもの(油絵具など)の使用は認めません。定規類の使用は不可。

※2 画板の大きさ、種類などに制限はありません。支給材料の紙の大きさを参考にして持参してください。



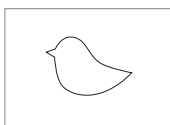
「カタチからの発想」の練習ができるpdfを大学Webサイト入試情報ページに掲載しています。
<http://www.kyoto-seika.ac.jp/admission/past>



カタチからの発想 「ささやかなこびとの休日」

作品評価

キャラクターの仕草や表情、鎌や布袋などの小道具の配置から丁寧に絵作りされた物語を感じさせる作品になっています。カタチの活かし方が強引な所が少し残念な所です。



カタチからの発想 「とある家族の休日」

作品評価

のびのびと楽しんで制作した様子が伝わって来る作品です。シンボル化したキャラクター達が個性を主張しながらも柔軟な構成で、一つに繋がる暖かい家族の様子が伝わってきます。